

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
© The Japan Company, 2000
LICENSÉ PRODUCT



特別
13
1181
4

仕題曲豆団虫

七編上

高橋
作員

字多

好





紅菱
文庫

扇
欠
画

七編下



宇多
好

種
員
作

七編上

仕題曲五國

特別
~13
1181
4

童謡。妙。車

七編

下冊

三魚合

種員作
國貞画
紅英堂



一日上野山下を過る廣地の中小觀場ありて看板あり種々の獸は相撲を取を
画見衆ハ傾小入り也さもけりて何とてつるは相手ハ一足の猿みく大豚組狸と
替々に取組と一真のめけりて何り其とる帰路ノ不手廻慮が妙なる車
の策子と獸の澤山いづるも何りや先荒栲が因と雖言みく報る

種員作
國貞画
紅英堂



五 一 改

一日上野山下と過小廣地の中小觀場ありて看板あり種々の獸は相撲を取を
 画見衆へ傾小入るるもいりて何ととつるや相手一足の猿あり大豚狸と
 替々に取組と一真のものはとてり其とてり歸路不斗廻慮を妙る車
 の策子と獸の澤山いづるもつるや先荒栲が恩と難言あり報る
 能て發着不成檻の小熊洪水不流る大猫の口画小虎あり志度六が
 考の爲に殺野猪とかぞへつるも許多けれども相手を禪官の徹猴智
 慧のよ扱此次の八編ハ狼狐鹿兎獺魁のよも更邪術の鏡面小泰詣が
 照を形容の變り寫獸尽の百面相是ど一場の道外文章戲場でもう
 さを可笑の一幕院本なるが故氣の一段然地名ハ牛瀧山ま開板
 午の歳も的と

安政五年正月

柳下亭種員記





鏡車の法師の法が
妖魔道人乃
術とを挫く
妙々道人

妖魔の邪術
形を美女
化す

妖魔道人

幽玄の國全



如人草七



越後國廣瀬
の樵夫
太郎



讃岐國
屏風浦の
農夫
切平

曲名立國急



あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな
あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

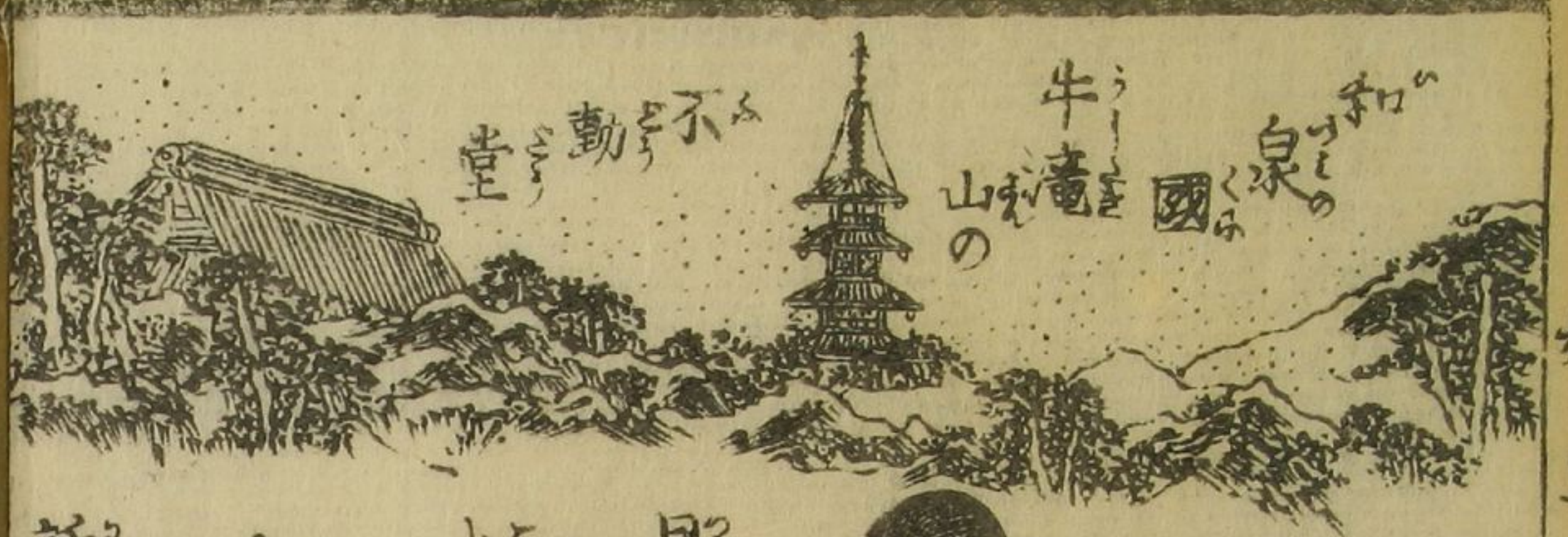
あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな



あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな

あつちのこゝろをよこしまに
つらねておぼろげな



ついでにきりしもの
 ざんまゝにひきつりしもの
 あらうとまはけりしもの
 の日あはれまはけりしもの
 ひきつりしもの
 ひきつりしもの



種員作國貞画

御免痴積湯 せんまの妙子糸
 信州上田 東山堂製

せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸

御用薬所
 本家 實母散
 せんまの妙子糸

せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸
 せんまの妙子糸

濡衣 雨務 雨 雙友紙

柳亭 梅彦作
 梅蝶樓 國貞画

伊達關 戲場 取組

河原崎 権十郎作
 梅蝶樓 國貞画

胡蝶 卷

柳亭 種彦作
 梅蝶樓 國貞画

初篇の追々出板
 初篇の追々出板



山狩師
五太六
野猪と
打対
此物
の詩
後巻
説



山狩師
五太六
野猪と
打対
此物
の詩
後巻
説







南傳
真作

種

真作

真作

八編下

八編下



女

字

色

八編上

八編上

車

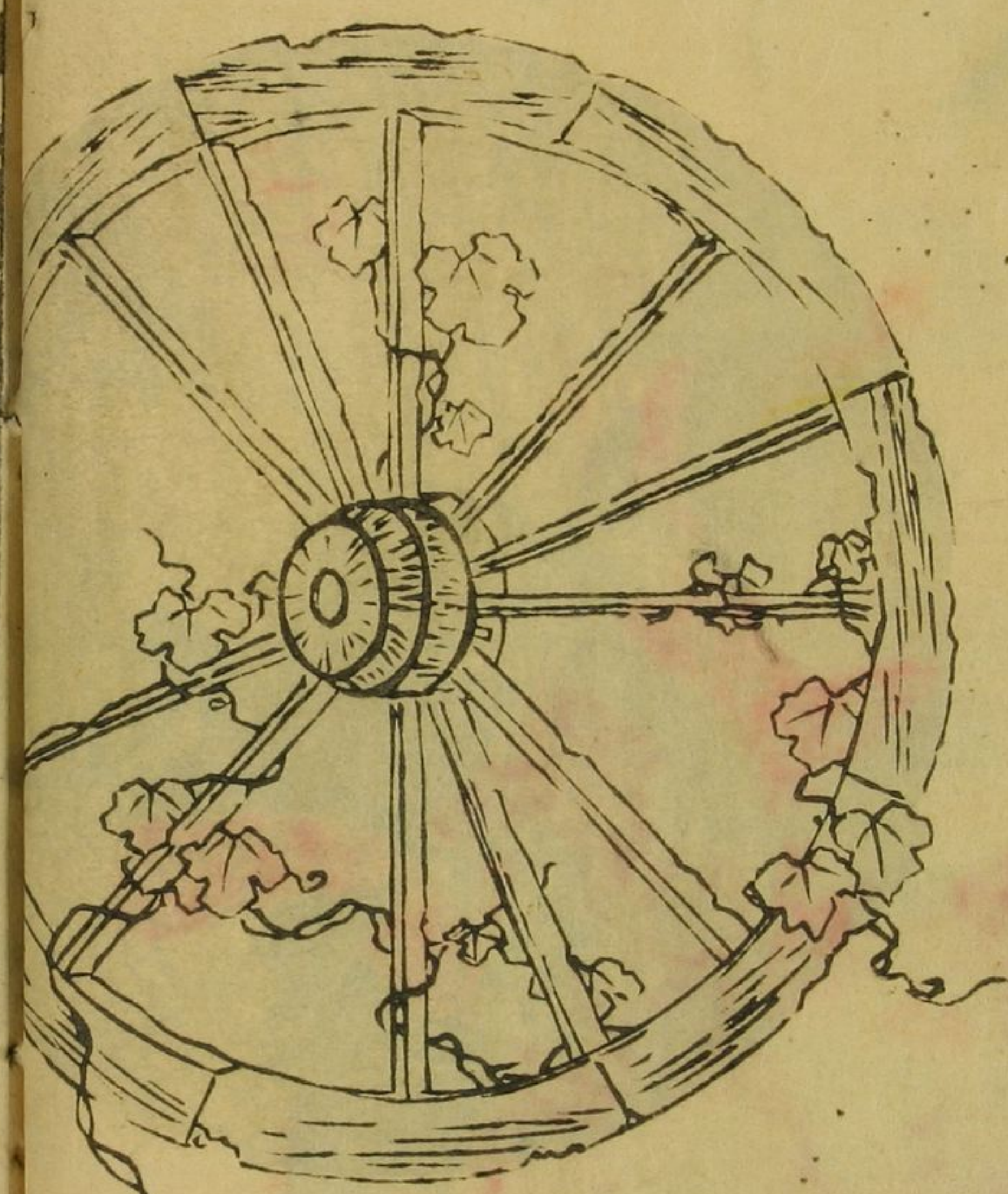


或心非法の
鏡此光ハ
八編下ハ表

くはる
あつめ

妙車八編上集

種員化國貞画
紅英を畫梓



天不測の風雲あり人小時侯の病悩ありと云 珎文漢の皇叔を蜀の
天子に尊敬する元師孔明の名言あり 實に世史の儘ありと云 月小障雲
花小風思想同士の人の目 関守無理な都合にて逢身小戀情ありと云
鶏鳴鐘声あり這巻中小説町の妖魔が邪術の法力を鉄車に正法に挫かれ
扱紅英堂の米櫃とも託さる 稗官の柳下亭に不量遠く行くと云うと云
愛顔の看官と云ふ茲小妙々車の話も中絶んと本意ありと思召給らんが彼
諸葛亮先生の没期小のこゝ三囊の中小秘藏する奇謀あり上超一人が遺
稿の妙案在下姜維が奇支那をれど密小其品を受収され夫を以九編十篇
と云ふ續て發取あると云ふれが大人が遺書と上覽有る 弥益愛説あり

安政六繪
未ノ初春

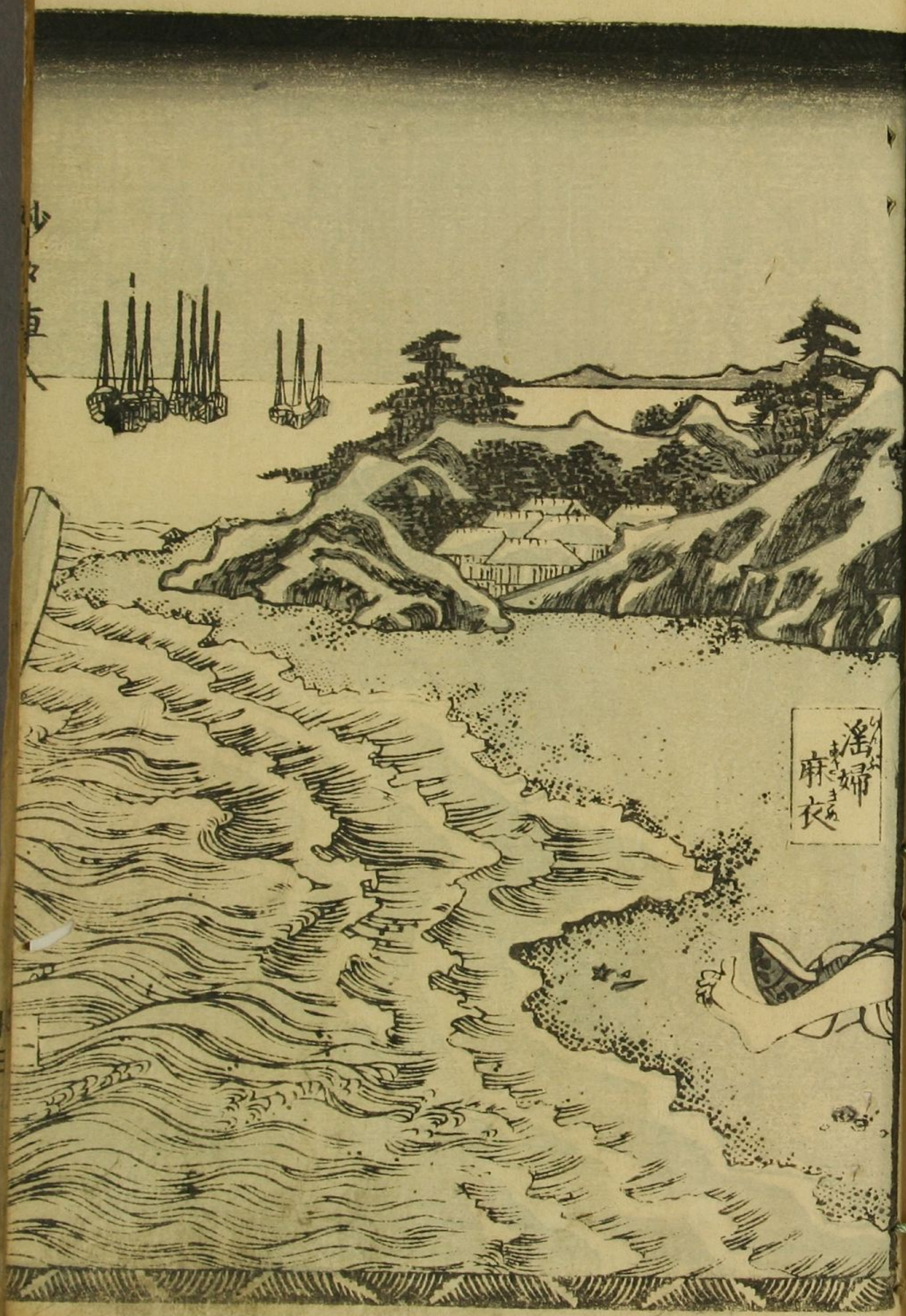


三其春馬填詞



少々車

天湖書



少
五

淫婦
麻衣



悪漢
番助

曲る之國丸



魔度六



妖魔之邪術
魔度六之窮
難と救ふ

曲る因由



Handwritten text in the upper left corner of the page, including the characters '七' and '車'.

Handwritten text in the middle section of the page, surrounding the standing figure.

Handwritten text in the lower section of the page, surrounding the kneeling figure.



Handwritten text in the upper section of the page, above the figure.

Handwritten text in the middle section of the page, surrounding the figure.

Handwritten text in the lower section of the page, below the figure.

Vertical handwritten text on the right edge of the page.





Vertical columns of handwritten Japanese text (kuzushiji) are interspersed around the illustration. The text is written in a cursive style and appears to be commentary or a narrative related to the depicted scene. The columns are arranged in a way that follows the contours of the figures and the decorative elements.



Vertical columns of handwritten Japanese text (kuzushiji) are interspersed around the illustration. The text is written in a cursive style and appears to be commentary or a narrative related to the depicted scene. The columns are arranged in a way that follows the contours of the figures and the architectural elements.

Vertical text columns on the top left of the left page, likely serving as a title or introductory text for the scene.



Vertical text columns on the right side of the left page, providing commentary or dialogue related to the illustration.



Vertical text columns on the right side of the right page, continuing the commentary or dialogue from the illustration.

師人の悪僧夜
 中老る師と
 害と香念う
 詞のうらふあそ
 以前の事あり



師人の悪僧夜
 中老る師と
 害と香念う
 詞のうらふあそ
 以前の事あり



師人の悪僧夜
 中老る師と
 害と香念う
 詞のうらふあそ
 以前の事あり

師人の悪僧夜
 中老る師と
 害と香念う
 詞のうらふあそ
 以前の事あり

Handwritten text in a vertical column on the left side of the page, likely a preface or introductory text.



Handwritten text in a vertical column at the bottom of the page, continuing the narrative or providing commentary.



Handwritten text in a vertical column on the right side of the page, likely a continuation of the text from the left page.









あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師

あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師



あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師

あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師
あつちの政所様
ひたりのあつちを
その師

